

新しい仕事の紹介！

こどもの見守り

令和7年7月19日から9月30日までの間、市が新しく始めた「こどもの居場所づくり事業」の仕事を受注しました。

これは、放課後ルームの待機児童の居場所対策として、5つの児童ホーム（夏見・宮本・新高根・法典・本中山）の開館時間を17時から19時まで2時間延長し、こどもの居場所として活用したものです。



仕事の内容は、2人1組で主に「こどもの見守り」と「鍵閉め」をするものです。1館あたり4～6人でシフトを組み、計26人（男性17人・女性9人）に仕事をさせていただきました。会員の皆さんお疲れさまでした。

心配な点は解消

この仕事を受けるにあたっては、市と何度も協議を重ね、様々な心配な点や疑問な点を解消していきました。特にこどもに何かあったときの責任はどうなるのかということが一番大きな点でした。このことについては、地震や台風の緊急時も含め、何かあった際には市に連絡をし、その後は市が対応することとして、会員には負担をかけないという仕様で、契約を締結しました。

今後の予定

令和8年4月から実施場所は現在未定ですが、再びこの仕事の受注を目指します。

また、この放課後の居場所づくりに加えて、令和8年3月から市が新たに実施する予定の「小学生の朝の居場所づくり事業」についても受注を目指します。この事業は、小学校が始まる時間までこどもの見守りを行うものです。

生きがい福祉事業団では、今後とも多様な就業機会の開拓に努めてまいります。

今回働いていただいた方の声を紹介いたします。



石川志津子さん（夏見児童ホーム）

最初はどのようにいいかわかりませんでしたが、しばらくすると慣れてきて、こどもたちのゲーム仲間にも入れてもらえるようになりました。若いこどもたちを見て、これから成長していくんだなと楽しい気持ちになりました。機会があればまたこの仕事をしたいと思います。



箭内正子さん（夏見児童ホーム）

遊んでくれるこどもたちがいるとうれしいです。
見ているだけでも声を聞いているだけでも、一緒にいると元気をもらえます。



夏見児童ホームでこどもたちを見守ってる石川志津子さんと箭内正子さん



後藤久雄さん（宮本児童ホーム）

楽しい仕事です。こどもたちと接したり、見守ったりしていると、エネルギーをもらえますし、心のリフレッシュになります。
とても感謝しています。



曽根 豊さん（宮本児童ホーム）

私にも小学生の孫がいますが、このような居場所があると安心です。保護者の方も安心することができるいい事業だと思います。
よい経験になりました。



古旗達夫さん（新高根児童ホーム）

最初の日、小学生から「おじさん、ゲームしよう」と声をかけられました。今のゲームの勝手が分からず、戸惑っていると、「次までにはやり方、覚えて下さいね！」と励まされました。今の小学生の明るさにびっくりしました。楽しい仕事でした。次も機会有れば、やりたいです。

今回取材をさせていただいた方以外の方からも「有意義だった」「楽しかった」「会員同士仲良くなった」「またやりたい」など多くの声が寄せられています。

皆さんの生き生きと働いている姿を見て、私たち職員もたいへんうれしく思いました。今後とも皆さんの生きがいつくりのサポートに努めてまいります。（事務局）



宮本児童ホームでこどもたちの受付を行っている後藤久雄さんと曽根豊さん